



薫小だより

「気づき・考え・行動する 薫の子」



郡山市立薫小学校
学校便り No. 6
令和6年 5月21日
文責：校長 齋藤和彦



子ども達は、育っています

毎朝の横断歩道にて、子どもが確かに育っていることを感じる光景に出会います。

- ◇「パパ、ここまででいいよ！」校門まで送ろうとするお父さんに娘さんの“このひと言”
 - ◇ 友だちの姿を見つけると、お母さんの手にタッチして..ひとりで友達に駆け寄り子。
 - ◇ うつむき加減に歩く黄色い帽子の妹を振り返りながら..決して離れずにゆっくりと先を歩いて登校する4年生のお兄ちゃん。
 - ◇ 泣きながら歩く1年生に寄り添って学校まで一緒に連れてきてくれた6年生女子。
 - ◇ 昨年まではお母さんと一緒に..だったのに、4月からは友達と楽しそうにお話しながら登校する2年生。雨の日も友達と一緒に！
- ～保護者の皆さんは、ちょっと寂しそうですが、子どもが確かに育っている姿です。

お父さんお母さんよりも、友達との関係や学校の立場を“自分の判断で優先させる”こんなことができるように育っていること、こんな関係性の広がりを楽しんでいることを喜びましょう。『子の親離れ』と同時に『親の子離れ』もあります。

「この子は大丈夫」と思えるまで、我が子の自ら育つ力を信頼して..。



低学年は 手をかけて..
中学年は 目をかけて..
高学年は 心をかけて..

「学年担任制」積極的に試行

今年度運営工夫「学年担任制」の試みです。

- ・学年担任が学年児童を担任するという意識
 - ・子ども一人ひとりのよさを複数の目で見る
 - ・教科交換授業や交換指導(給食/清掃)にて、持ち味(得意/専門性)を活かした指導充実
- ～本校のみならず、校内教員の若手とベテラン二極化構成を逆手に、教職員が力と心を合わせて協働的にそれぞれの力を発揮する。

指導力向上(指導力の伝授)と諸問題への適切な対処法をも共有する体制です。

若手にとっては、きっと心強く..感謝の心。ベテランは、次世代を確かに育てる責務を。

4月から、高学年では教科交換授業を通して、学年の子のよさやがんばりを学年の先生皆で話題にする職員室光景が見られます。

中学年では、道徳科授業をローテーションで実施する試み(同じ授業を3学級で実践)によって、工夫改善が加わり授業力アップ!

低学年は、やっぱり担任の先生と安心してたっぴりとかかわることが大切です。(今後は給食指導や清掃指導の交換も～楽しみです)

※ 全国的報道の「学年担任制」「教科担任制」は、教員数増での取組ですが、本校では現状の教員数での挑戦です。薫の先生の「薫の子のために」この思いひとつに支えられての取組です。子どもも先生もがんばっています。

～薫の先生方の取組とその熱意に感謝(校長)～

◆◇ 校長室より 「服務倫理委員会～これってセクハラ？」 ◇◇



月末の職員会議に「服務倫理委員会」を設定し、【不祥事ゼロが郡山(薫小)の常識】全職員で周知徹底(我が事としてとらえる)を図っています。5月は「セクハラ」について1学年の運営進行にて、例示事案をもとに、全職員“日頃の自分”を振り返りました。(学年輪番制で進行)

【事案例】～同僚先生のふるまい：学級児童とのスキンシップに「抱っこ」「おんぶ」「膝の上に子どもをのせてお話」「手をつないで..」この学級の子供達と担任の先生はとってもなかよし！～男性(女性)教員が女子(男子)児童に..に関わらず、不必要に児童に触れることはアウトです。児童の受け取り方や保護者感情、疑わしき回避を考えると『触れないことが無難』となります。

はたして..この線引きは正解(妥当)でしょうか？ 保護者の皆さんは、どう思いますか？

この日、私(校長)は、特別支援学級の1年生男子と手をつないで学校探検をしました。

小さな手を互いにぎゅっとなで..階段を「ワン・トゥ・スリー・フォー..～テン！」この子の得意なEnglishを唱えながら何度も上り下りしました。職員会議の間も、小さな手の感覚がはっきり残っています。～この子にとって「今日の学校は楽しかったかな..」だけ考えていました。

「〇くん！元気か～？」(タッチ！ギュ～！)この4月からの担任の先生の積極的スキンシップによって、見違えるほどの変容(笑顔に！目線が合う！)が見て取れる..担任のかかわりもあります。会議後..職員個々に「セクハラチェックシート」項目をチェック..自分ごととして振り返りました。